

報道各位

マリンテックチャイナ2019展示会への参加報告

一般社団法人 日本船用工業会

当会は、日本財団の助成事業として、去る12月3日（火）から12月6日（金）まで中華人民共和国・上海市（上海新国際博覧中心：SHANGHAI New International Expo Center(SNIEC)）で開催された「マリンテックチャイナ2019展示会」に参加した。

同展示会は、隔年で中国で開催される世界最大規模の国際海事展であり、1981年に初めて開催されて以降、20回目の記念開催となる今回の展示会には、主催者発表によると、30の国と地域から2,200社を超える企業が出展し、前回（6万人）を上回る6万5000人強の来場者があった。

今回、当会は、会員企業31社及び（一財）日本海事協会とともに、主要国のナショナルパビリオンが集まる展示ホール（N1ホール）の入口付近に日本パビリオンを形成。今回から出展ブースのレイアウトの一部にオープンスペース形式を採用したほか、ブースパネルをLED内照式にすることで、一体感を保持しつつ明るく開放感のあるスペースを実現。加えて、同展示会開催期間中には、日本パビリオン内に設置したプレゼンテーションコーナーで出展企業11社による企業・製品紹介のプレゼンテーションを実施し、多くの来場者が、日本パビリオンで足を止め、出展企業の説明に熱心に耳を傾けていた。

出展企業からは、「同展示会には、中国国内だけではなく、ASEAN、EU圏からも多くの来場者があり、世界最大の展示会であることを実感した。」「非常に活気がある展示会であり、各社・各国の中国マーケットに対する注力度が伺えた。」といった同展示会の位置付けを評価する声や、「例年以上に中国市場の活気を感じた。」「回を重ねるごとに来場者、出展社が増えており、中国における海運、造船の市場拡大を感じることができた。」「中国における海運、造船の市場動向も調査できた。」など、今回の出展が有意義であったとの感想が多く聞かれた。

開催初日の12月3日、日本パビリオンでは、オープニングレセモニーを行い、当会の山田信三会長、在上海日本国総領事館の磯俣秋男大使、（一財）日本海事協会の飯田潤一郎副会長がテープカットを行った。その後、磯俣大使は、日本パビリオン出展各社を訪れ、出展企業から各社の製品説明などを受けた。また、同日昼には、当会の山田信三会長、木下茂樹副会長、小野正治副会長、山下義郎副会長及び（一財）日本海事局会の飯田潤一郎副会長による鏡開きを合図に寿司ランチパーティーを開催し、日本パビリオンは、ひととき多く来場者で賑わった。

また、同日夕方には、中国船舶工業行業協会（CANSI）と当会との座談会を上海市内ホテルで開催し、CANSIからは、郭大成・会長や金鵬・事務局長、譚乃芬・事務局次長、陳文波・事務局長代理、当会からは山田信三会長や小野正治副会長らが出席した。座談会の中で郭会長は、最近の日中両国企業による中国での合弁造船会社の設立などを例に挙げつつ、今後、中国での「一帯一路」構想が進み、全面的な市場開放が実現すれば、両国造船・船用工業は更に高い次元での連携・協力が可能となるだろうとの考えを示した。一方、山田会長からは、日本の船用工業は高品質な製品供給を通じて中国海事産業の発展を支えてきたが、今後とも成長が確実な中国海事産業に対して環境規制やデジタル化への対応の面で貢献が可能であると述べ、両会は、引き続き、連携・協力関係を維持・発展させていくべきとの考えを共有した。

さらに同日夕刻、「日中造船・船用工業交流懇親会」を上海国際会議中心 当方濱江大酒店 7F

パールルームで当会と（一財）日本海事協会とで共催し、来賓として CANSI の郭会長及び在上海日本国総領事館の等々力研首席領事を迎え、日中両国海事関係者から総勢約 240 名が参加した。

懇親会では鏡割りや和太鼓演奏、会員各社や主催者が提供した景品が当たる抽選会を実施し、2 時間近くにわたり、日中両国の参加者が交流を図った。

また、展示会開催に先立ち、12月2日には、当会の山田信三会長、木下茂樹副会長、小野正治副会長、山下義郎副会長及び事務局は、在上海日本国総領事館の磯俣秋男大使を表敬訪問し、展示会の概要や我が国船用工業及び中国の現況などについて情報・意見交換を行った。

記

〔マリンテックチャイナ 2019 展示会 当工業会出展参加概要〕

1. 出 展 面 積：約 730 m² (SNIEC Hall-N1B3A)
2. 出 展 企 業 数：31 社（スペース出展 26 社、パネル出展 4 社、カタログ出展 1 社）
3. 出 展 企 業 <共催者である（一財）日本海事協会とともに日本パビリオンを形成>

（スペース出展：26 社）

(株)IHI 原動機、伊吹工業(株)、BEMAC(株)、神奈川機器工業(株)、かもめプロペラ(株)、川崎重工業(株)、(株)サンフレム、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、(株)シンコー、ダイキン MR エンジニアリング(株)、ダイハツディーゼル(株)、大洋電機(株)、(株)田邊空気機械製作所、中国塗料(株)、長崎船舶装備(株)、ナカシマプロペラ(株)、(株)浪速ポンプ製作所、ナブテスコ(株)、日本船用エレクトロニクス(株)、富士貿易(株)、眞鍋造機(株)、三菱化工機(株)、三菱重工マリンマシナリ(株)、ムサシノ機器(株)、ヤンマー(株)、横河電子機器(株)

（パネル出展：4 社）

(株)赤阪鐵工所、三浦工業(株)、水野ストレーナー工業(株)、(株)リケン

（カタログ出展：1 社）

西芝電機(株)

※五十音順

〔中国船舶工業行業協会(CANSI)との懇談会〕

1. 日時：2019年12月3日（火） 17：15－17：45
2. 場所：上海国際会議中心 当方濱江大酒店 7F VIP ルーム
3. 参加者：

(CANSI 側)

郭 大成 会長、金 鵬 事務局長、譚 乃芬 事務局次長、陈 文波 事務局長代理

(JSMEA 側)

山田 信三 会長、小野 正治 副会長、安藤 昇 専務理事、
河合 崇 日本貿易振興機構香港事務所 (JETRO) 船用機械部長

〔日中造船・船用工業交流懇親会〕

1. 日時：2019年12月3日（火） 18：30－20：30
2. 場所：上海国際会議中心 当方濱江大酒店 7F パールルーム

3. 来賓：

中国船舶工業行業協会 郭 大成 会長
在上海日本国総領事館 等々力 研 主席領事
その他中国側海事関係者 約70名

以上

[本件に関する問い合わせ先]

一般社団法人 日本船用工業会

業務部 担当：金子 E-mail：kaneko@jsmea.or.jp

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-13-3 虎ノ門東洋共同ビル5F

電話：03-3502-2041 Fax：03-3591-2206

<日本パビリオン オープニングセレモニーの様子>



(左) 日本海事協会 飯田副会長、(中央) 在上海日本国総領事館 磯俣大使、
(右) 山田会長

<在上海磯俣大使視察の様子>



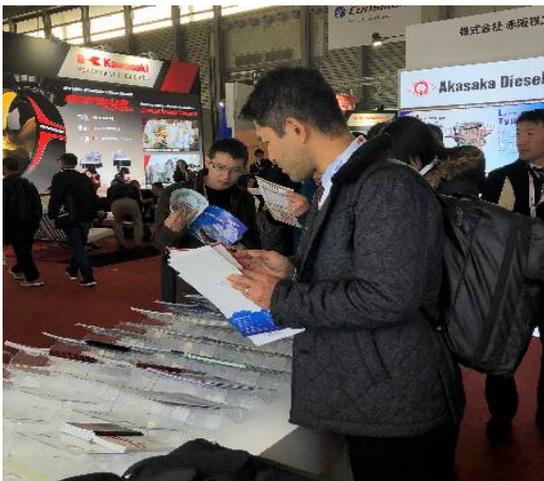
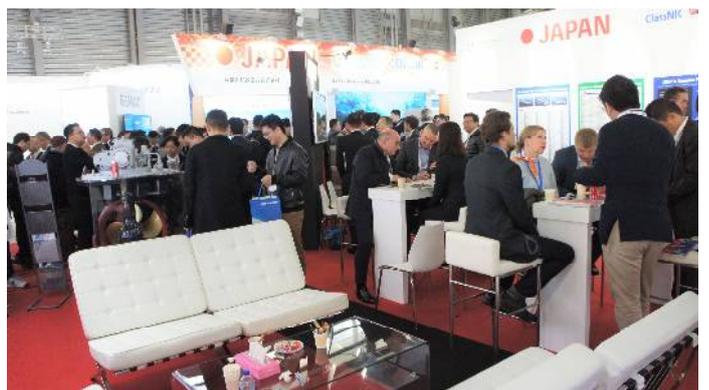
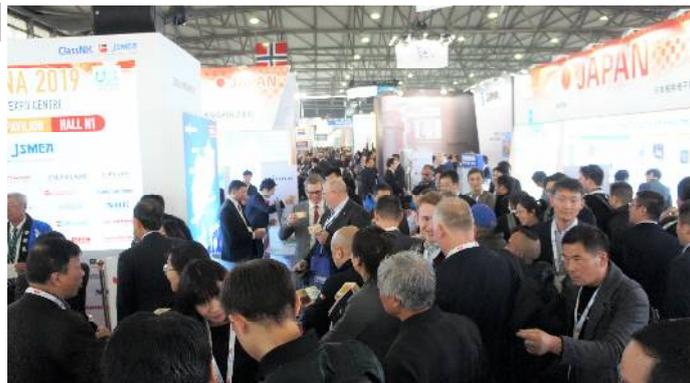
<日本パビリオン 鏡割りの様子>



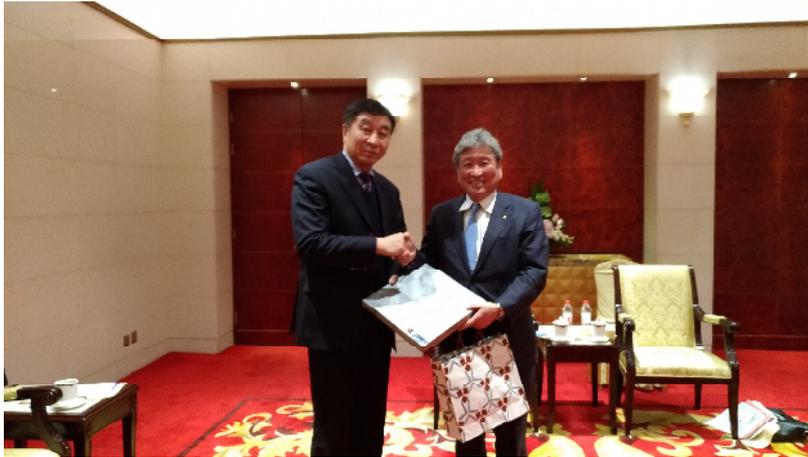
<日本パビリオン内 プレゼンテーションコーナーの様子>



<日本パビリオン風景>



<中国船舶工業行業協会との座談会の様子>



(左) 中国船舶工業行業協会 郭会長、(右) 山田会長



左前方から中国船舶工業行業協会郭会長、山田会長
後方左から陈事務局長代理、谭事務局次長、金事務局長、
小野副会長、安藤専務理事

<日中造船・船用工業交流懇親会の様子>



山田会長の主催者挨拶



日本海事協会 飯田副会長の主催者挨拶



中国船舶工業行業協会 郭会長の来賓挨拶



在上海総領事館 等々力首席領事の来賓挨拶



筒井副会長の乾杯挨拶



和太鼓演奏の様子



懇親会風景



小野副会長の中締め挨拶